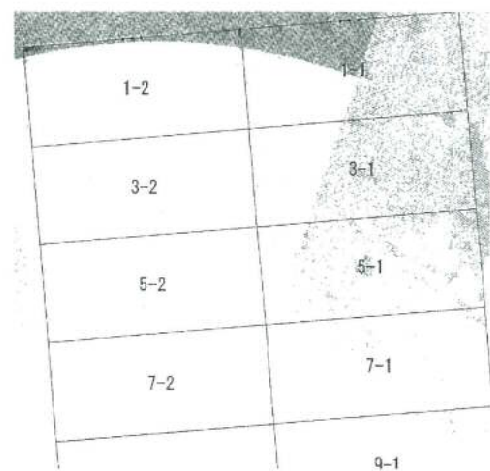


建物概要					外部仕上							
工事名	TOWN東1南23 C棟新築工事				屋根	長尺カラー鉄板t=0.35、ゴム改質ルーフィング22Kg、下地-構造用合板t=12.5(実付)						
建設地	北海道帯広市東1条南23丁目7-2のうち				外壁	防火サイディング14t(PC030BE-9201)、通気層18t、下地-構造用パネル9.0t(4級)						
用途	(区分 08010) 戸建住宅				軒天井	アスノンt=11.0(QF045RS-0082)AEP塗装						
構造	枠組壁工法(省令準耐火)				基礎	鉄筋コンクリート造布基礎引AEP塗装、床下換気-KS-0313P、基礎根入=GL-1000(凍結深度)						
耐火建築物					建具	内部木製建具及び造付家具全て F☆☆☆☆ 脂サシ、断熱アルミ玄関戸						
特記	内装 石膏ボード 12.5mm			NM-8619	ポーチ	床:磁器タイル、壁:外壁と同じ、天井:アスノンt=11.0						
(認定番号)	普通紙塩化ビニル樹脂化粧壁紙張			QM-9229	犬走り	化粧砂利敷						
	キッチンパネル(メラミン不燃化粧板)			NM-2183	断熱工事	※矩計図参照						
	外壁 防火サイディングt=14.0			QF045BE-9226								
	軒天 アスノン t=11.0			QF045RS-0082(QF045RS-0081)								
面積表					内部仕上							
敷地面積					室名	床	巾木	壁	天井	台輪	天井高	備考
敷地面積		194.19㎡			1階	※ 内装材は全てF☆☆☆☆						
用途地域		第1種住居			玄関	100角タイル	タイル	Vクロス	Vクロス	見切	2,500	下駄箱
建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合		200.00%				コンクリート		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			
建築物の建築面積の敷地面積に対する割合		60.00%			ホール	707-合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	
						構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			
					居間、台所	707-合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	キッチン、換気設備、IHヒータ、給気設備
						構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			(流前キッチンP不燃材料)
建築面積		申請部分1			洋室A	707-合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	洗濯機置場、洗面
		申請以外の部分				構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			換気設備
建築面積		50.10㎡			脱衣室、洗面所	CFシート1.8t	ビニル	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	洗濯機置場、洗面
建築面積の敷地面積に対する割合		25.80%				構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			換気設備
					便所	CFシート1.8t	ビニル	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	便器、手洗い、
						構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			換気設備
延べ面積		申請部分			浴室	ユニットバス(1616)						
		申請以外の部分						石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			換気設備
建築物全体		93.57㎡			2階	※ 内装材は全てF☆☆☆☆						
地階の住宅部分					階段	707-合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	階段手摺、階段既製品
車庫等の部分						構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			
延面積		93.57㎡			洋室B	707-合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	給気設備
延面積の敷地面積に対する割合		48.19%				構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			
					CI	707-合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	収納棚、ステンパイプ、枕棚
								石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			
面積表		申請部分			洋室C	707-合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	給気設備
		申請以外の部分				構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			
2F		43.47㎡										
1F		50.10㎡										
B1												
合計		93.57㎡										
特記事項		Vクロスは全て準不燃材料とし、下地は全てPB12.5t(不燃)以上とする。(壁、天井共通)										
		ガス調理器										





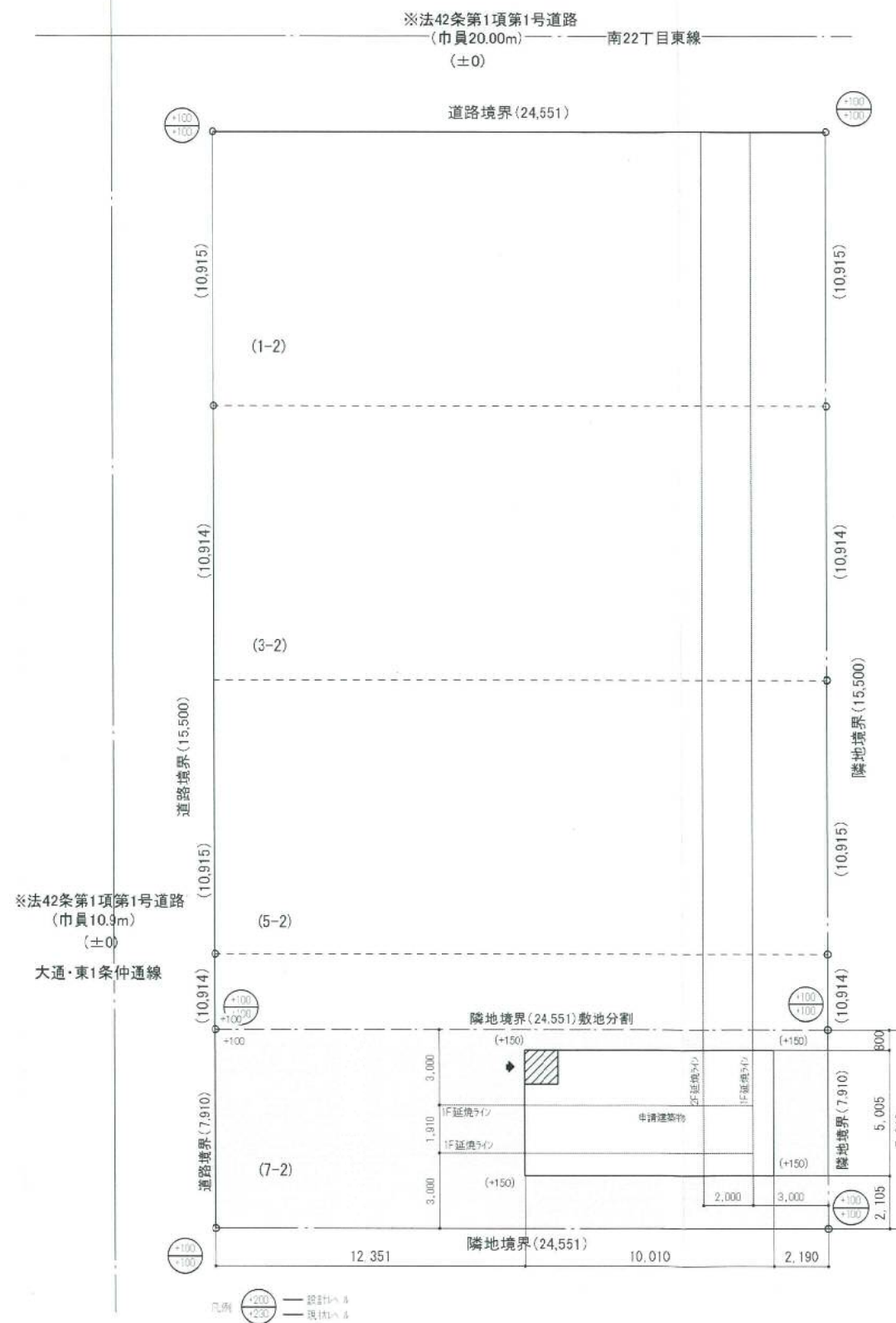
案内図



街区図

※設計GL=前面道路+150
 ※上下水道は関係法令に基づき設置する
 ※雨水は敷地内にて処理する

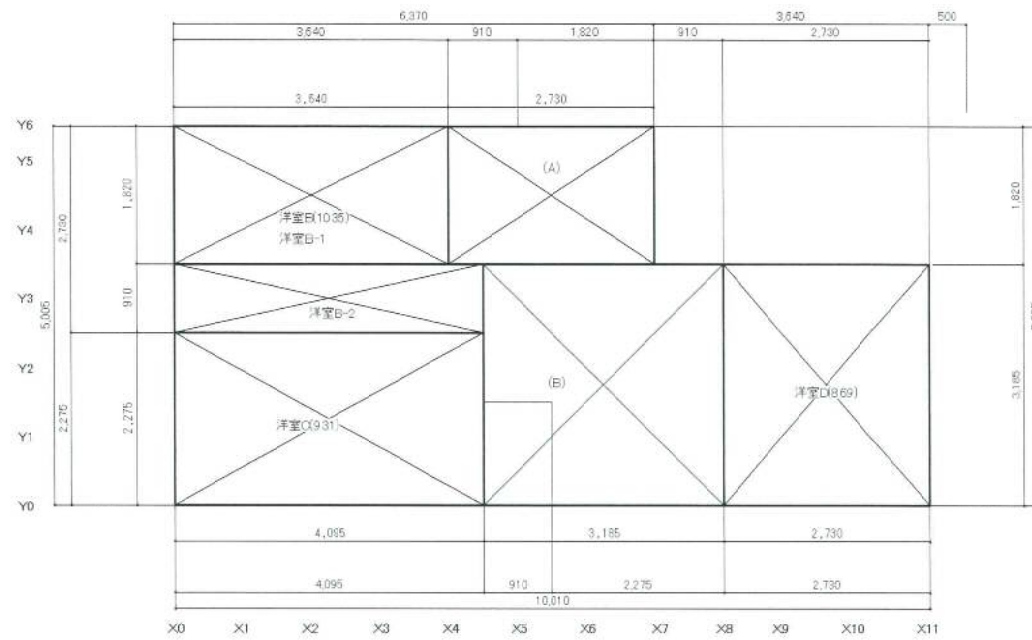
敷地求積			
7-2)	7.910	×	24.551 = 194.19841
Total			= 194.19841



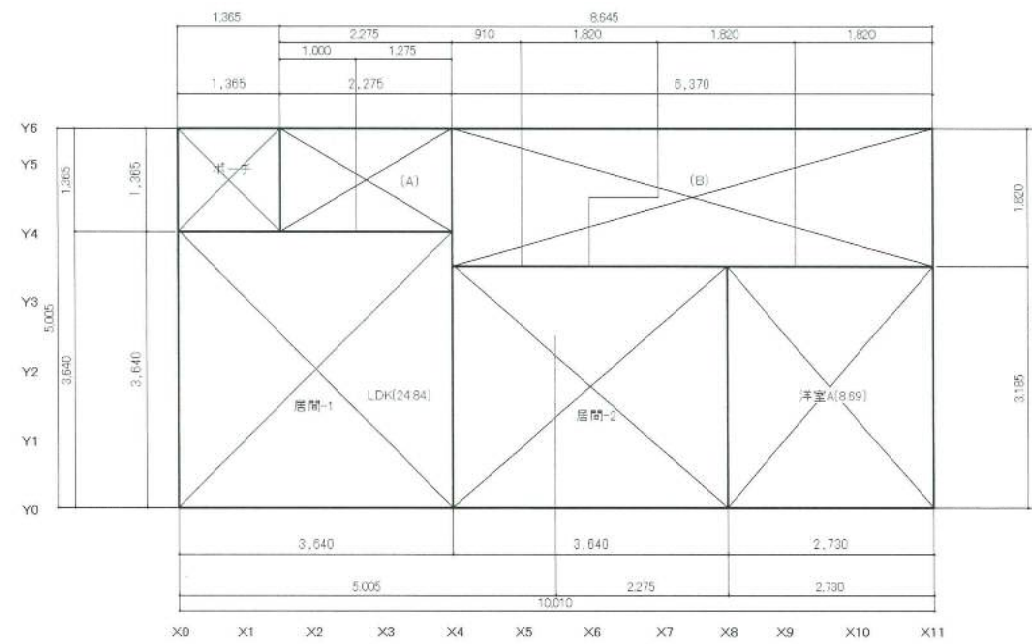
配置図

申請位置 - 帯広市東1条南23丁目7-2のうち



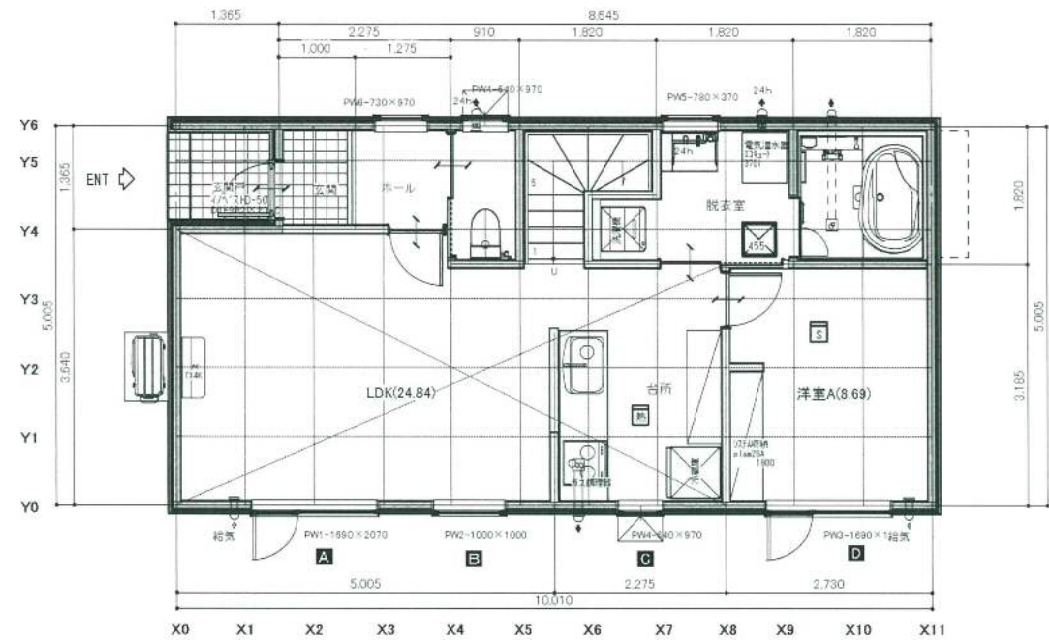


洋室B-1	1.820	×	3.640	=	6.62480	
洋室B-2	0.910	×	4.095	=	3.72645	
洋室C	2.275	×	4.095	=	9.31613	
洋室D	3.185	×	2.730	=	8.69505	
A	1.820	×	2.730	=	4.96860	
B	3.185	×	3.185	=	10.14423	
Total				=	43.47525	

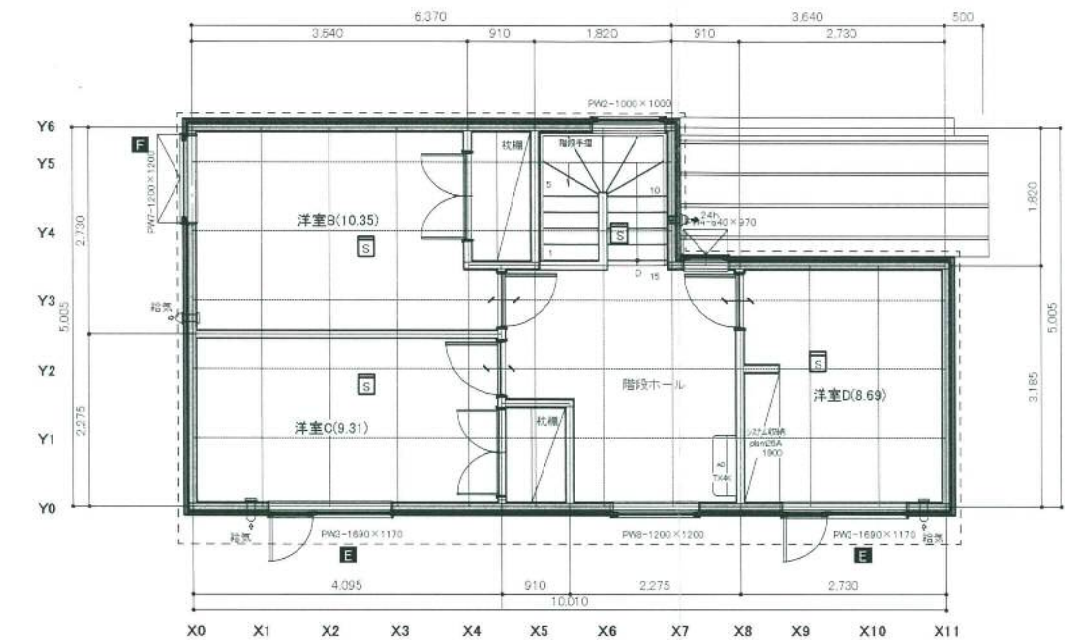


居間-1	3.640	×	3.640	=	13.24960	
居間-2	3.185	×	3.640	=	11.59340	居間1-2
洋室A	3.185	×	2.730	=	8.69505	
A	1.365	×	2.275	=	3.10538	
B	1.820	×	6.370	=	11.59340	
ポーチ	1.365	×	1.365	=	1.86323	
Total				=	50.10005	





1階床面積 50.10㎡(15.18坪)



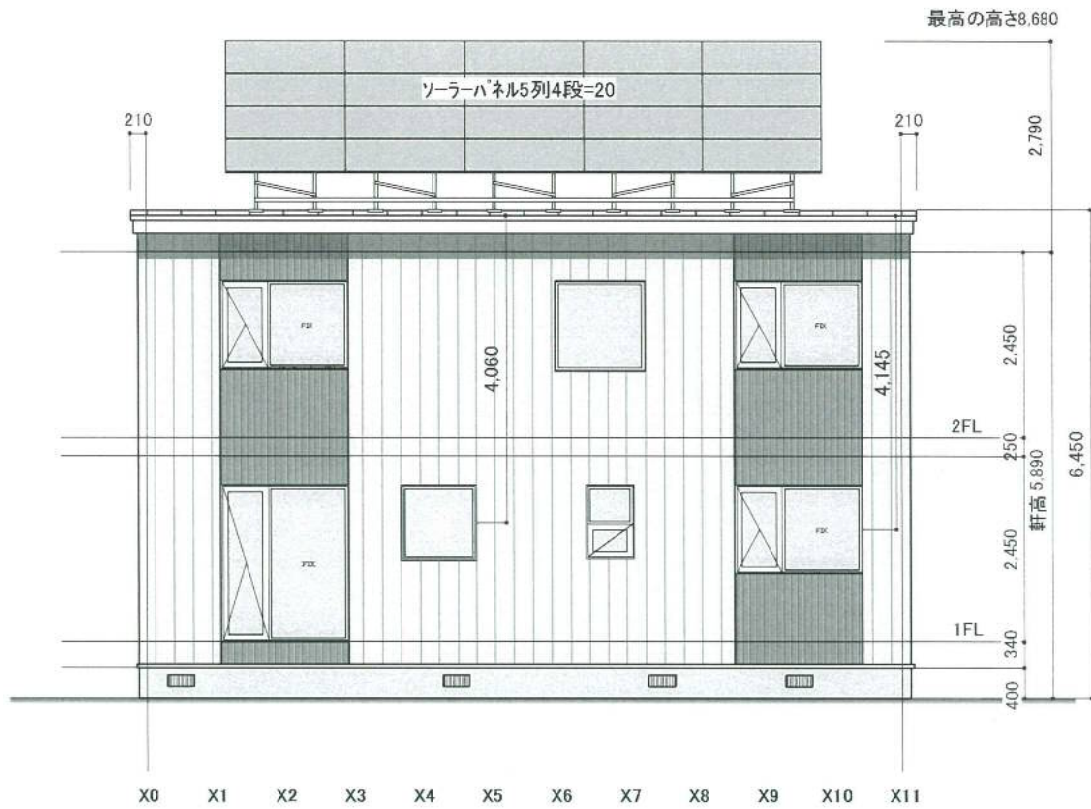
2階床面積 43.47㎡(13.17坪)

住宅用火災警報器(検定マーク)
(煙感知) S

⇨ □ 給気
⇦ □ 排気

室名	居間・台所	室名	1F洋室A	室名	2F洋室C,D	室名	2F洋室B				
室面積	24.84 m ²	室面積	8.69 m ²	室面積	9.31 m ²	室面積	10.35 m ²				
排煙	必要	24.84 / 50 = 0.497	必要	必要	8.69 / 50 = 0.174	必要	必要	10.35 / 50 = 0.207			
	有効	×		有効	×		有効	×			
採光	必要	24.84 / 7 = 3.549	必要	必要	8.69 / 7 = 1.241	必要	必要	10.35 / 7 = 1.479			
	有効	A		1.690 × 2.07 = 3.498	有効		D	1.69 × 1.17 = 1.977	有効	F	1.20 × 1.2 = 1.440
		B		1.000 × 1.00 = 1.000							
		C		0.640 × 0.97 = 0.621							
換気	必要	24.84 / 20 = 1.242	必要	必要	8.69 / 20 = 0.435	必要	必要	10.35 / 20 = 0.518			
	有効	A		1.64 × 2.02 = 3.313	有効		D	0.52 × 1.12 = 0.582	有効	E	0.52 × 1.12 = 0.582
							換気	必要	補正	1.44 × 3 = 4.320	
								必要	F	1.15 × 1.15 = 1.323	

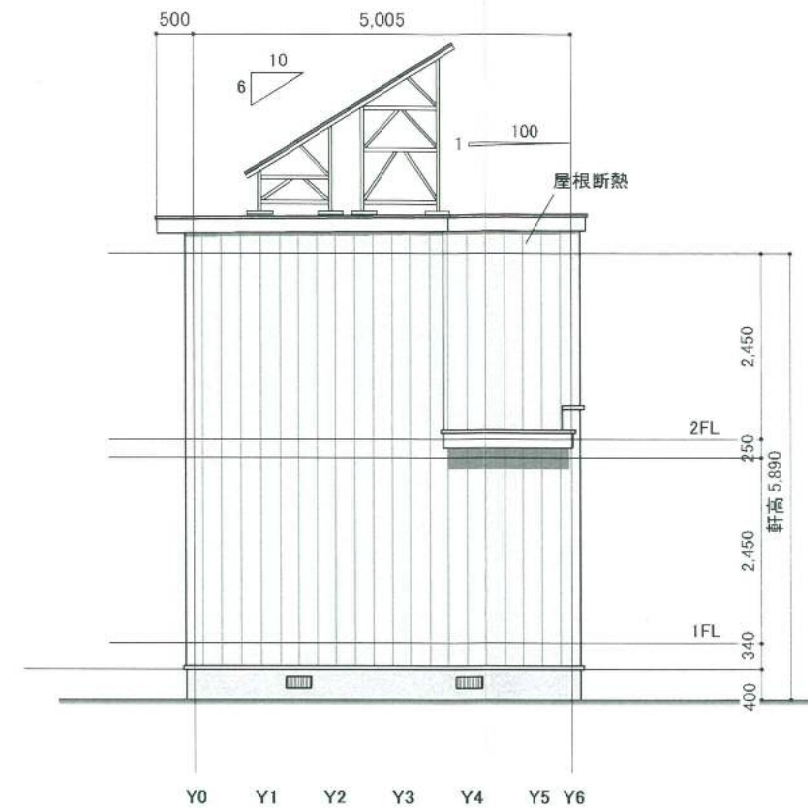
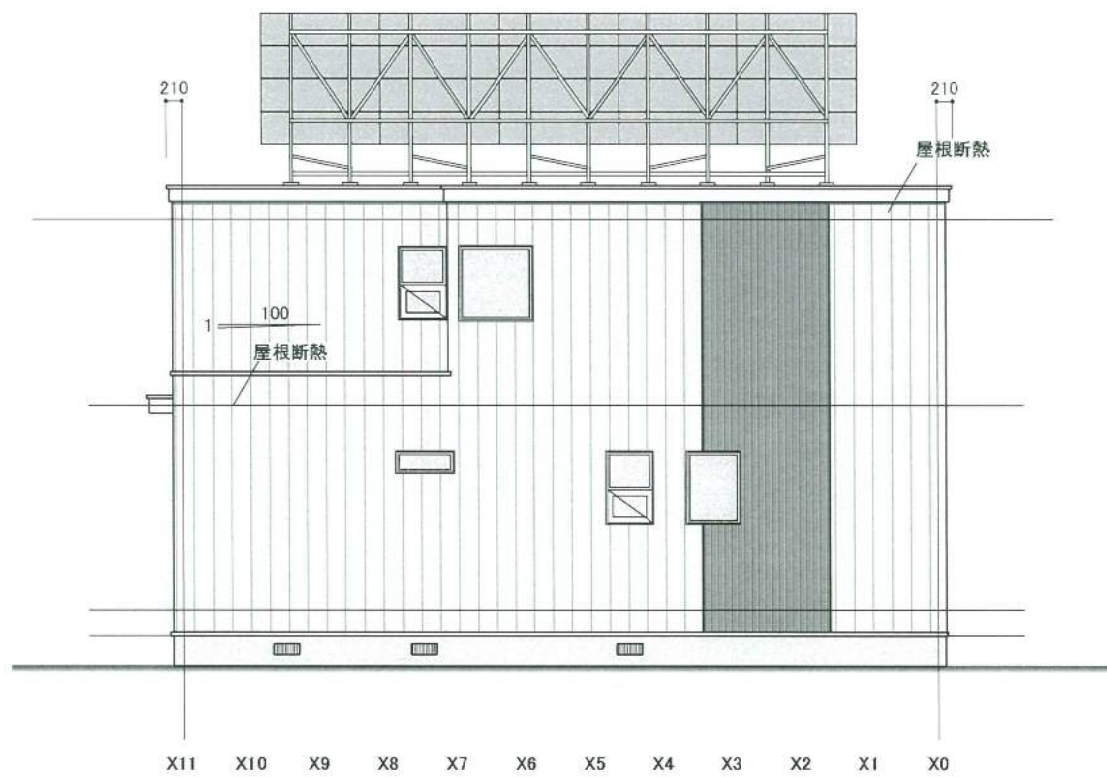




South Elevation

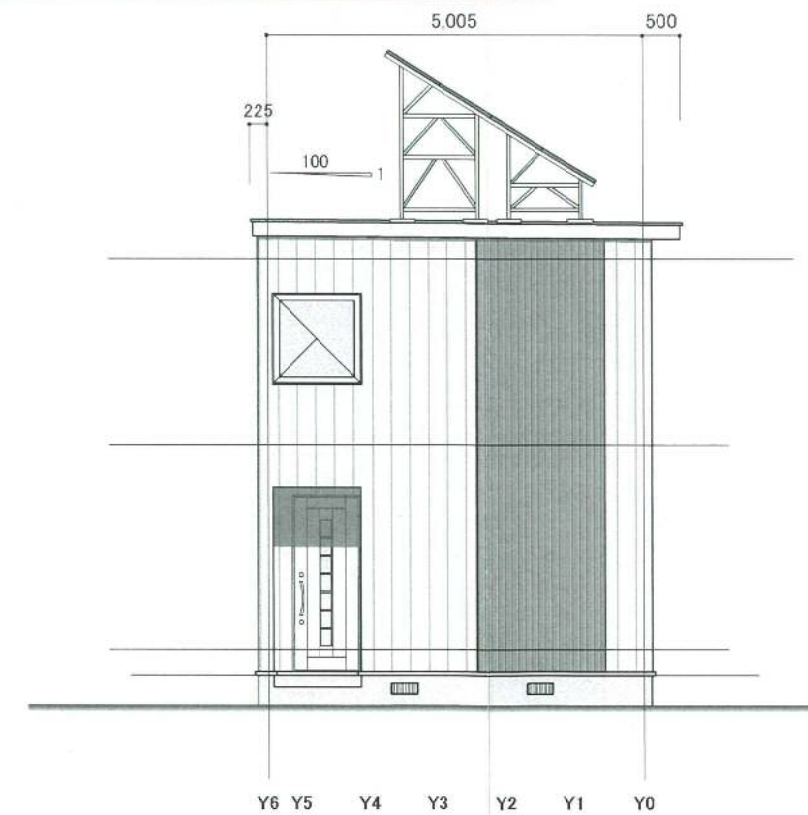
有効採光面積チェック			有効採光面積チェック			有効採光面積チェック		
屋根	各寸法(平面参照)	24.84 m ²	屋根	各寸法(平面参照)	24.84 m ²	洋室	各寸法(平面参照)	8.89 m ²
開口面積	1.690 × 2.070 =	3.50 m ²	開口面積	1.640 × 0.970 =	1.59 m ²	開口面積	1.690 × 1.170 =	1.96 m ²
必要開口部	24.84 / 7 =	3.55 m ²	必要開口部	24.84 / 7 =	3.55 m ²	必要開口部	8.89 / 7 =	1.27 m ²
採光関係比率の検討			採光関係比率の検討			採光関係比率の検討		
採光関係比率	1.6 / 4.636 =	0.35	採光関係比率	1.5 / 4.06 =	0.39	採光関係比率	1.6 / 4.15 =	0.39
水平距離(軒先より敷地境界)	=	1.6 m	水平距離(軒先より敷地境界)	=	1.6 m	水平距離(軒先より敷地境界)	=	1.6 m
開口中心までの距離	=	4.636 m	開口中心までの距離	=	4.06 m	開口中心までの距離	=	4.15 m
採光補正係数 (採光関係比率×6)-1.4	=	0.871	採光補正係数 (採光関係比率×6)-1.4	=	0.965	採光補正係数 (採光関係比率×6)-1.4	=	0.913
有効開口面積	3.498 ×	0.871	有効開口面積	1.591 ×	0.965	有効開口面積	1.877 ×	0.913

North Elevation



East Elevation

氷雪の落下により危害を生ずる恐れがある
建築物の屋根面には雪止めを設ける等の有
効な措置を講じて下さい。帯広市建築指導課



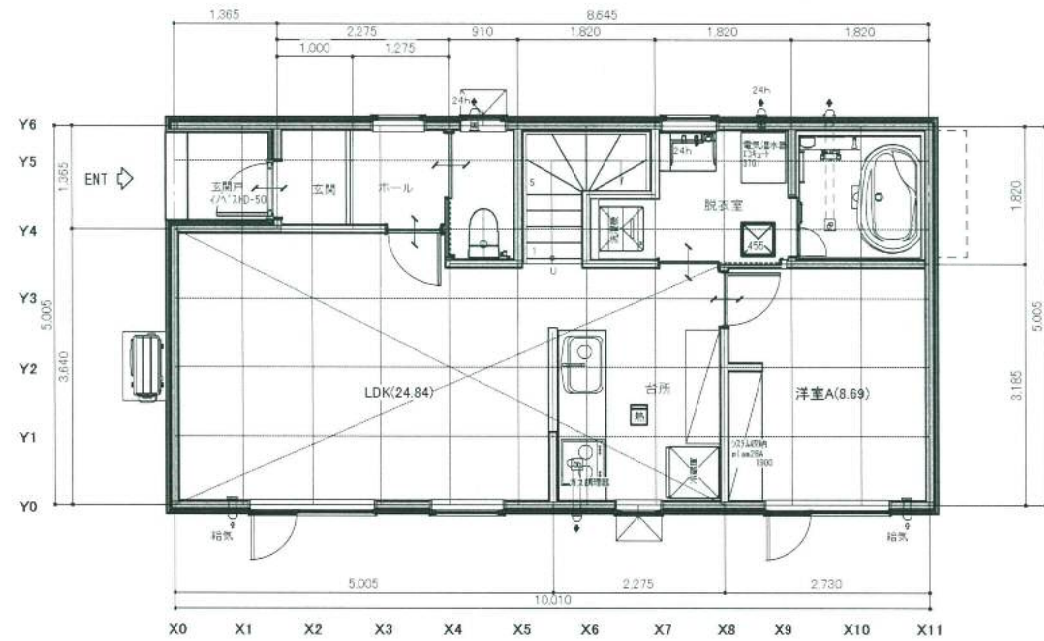
West Elevation



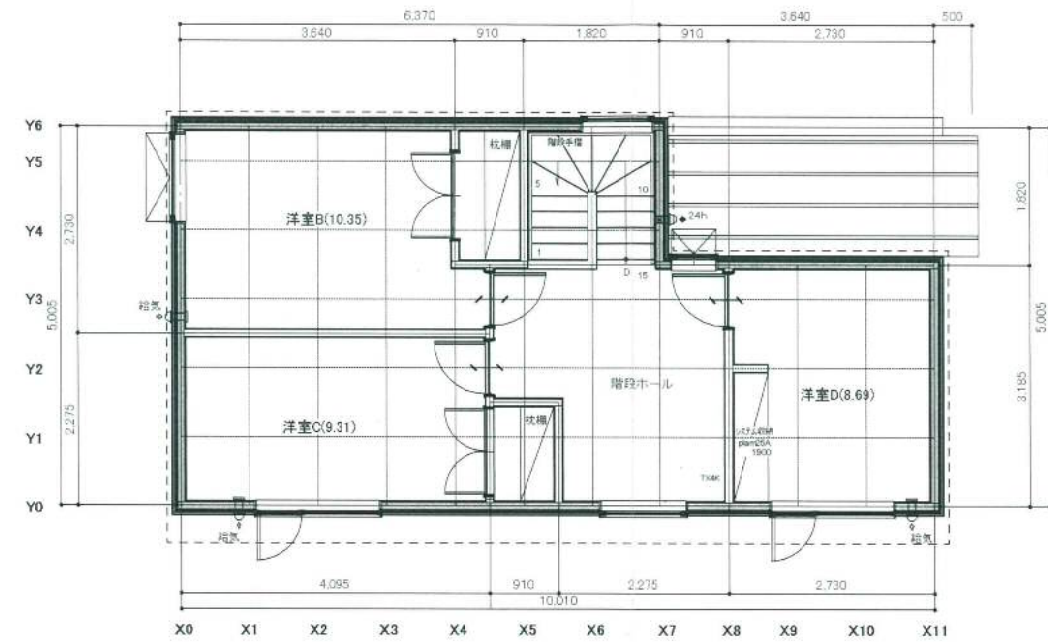
- 注1) 居室には、常時開放された開口部を通じて相互に通気が確保される廊下等の部分を含む
 注2) 換気経路については、適切な給気口、排気口及び換気上有効な開口(隙間を含む)を有していること。(開き戸については、アンダーカット等を有していること。)
 注3) 令第20条の6 クロルピリホスの使用はなし

告示274第一・給気機及び排気機は、全圧力損失(直管部損失、局部損失、諸機器その他における(圧力損失)を考慮して計算により確かめられた換気量とすること。

- 〃 第一・機器の継続使用中は、気流、温度、騒音等により、居室の使用に支障をきたさないこと
- 〃 第一・居室の空気圧が、小屋裏等(天井裏、小屋裏、床裏、壁、物置その他これらに類する部分)の空気圧以上であること。
- 〃 第一・(イ)小屋裏等と気密層、通気止め等により気密区画されていること。
- 〃 第一・(ロ)小屋裏等に第1種又は第2種ホルムアルデヒド発散材料を用いていないこと。



1階換気対象床面積 (50.10m²)
 平均天井高 ≒ 2.42m



2階換気対象床面積 (43.47m²)
 平均天井高 ≒ 2.42m

block	階数	部屋名	換気種別	A		B		C=A×B		D		E=C×D		F	
				床面積 (m ²)	平均天井高(m)	床面積 (m ²)	平均天井高(m)	部屋容積 (m ³)	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m ³ /h)	使用機材	設計換気量 Q(m ³ /h)	センサー		
a	1F	便所	3種	50.10	2.42	121.24	0.50	60.62							
		脱衣室	3種												
	2F	階段室	3種	43.47	2.42	105.20	0.50	52.60							
		合計					226.44	0.53	113.22					(120.00)	

天井裏等への措置 ※1階、2階天井裏等に関してはF☆☆☆以上を使用。
 ※1階小屋裏、1階床裏及び外壁と居室等との間には連続した気密層を設け、居室等と区画する。

